

1 基本目標 まちと商業の一体化

【施策の方向】 地域社会との連携強化

施策1 地域団体との連携事業の推進

事業名		◎地域が一体となるイベントの実施				
実施主体	商業者	住 民	商業団体	観光協会	行 政	
	主体	主体	支援	支援	支援	
27年度	取組内容	地域の特徴を打ち出すイベント等を実施します。	商業者等が実施するイベント等に参加・協力します。	商業者等が実施するイベント等を企画又は支援します。	商業者等が実施するイベント等の運営協力、広報協力をします。	商業者等が実施するイベント等をPRします。
	自己評価	S 地元へ根差した事業と成った。	A チャレンジショップもオープンし、商業者や来場者も増えていることは良いが、高砂町に限定されているように見える。	B 全市に広がっているか疑問がある。	A 目標通り支援を行うことができた。	A イベントのチラシ等の設置場所を増やしPRした。また、各イベントなどに参加し協力や交流を図った。
	今後の方向性	継続 商店街に店舗誘致を進める。	継続 今後も商業者等が実施するイベント等に参加・協力する。	継続 全市的な考えで商業者等が実施するイベント等に協力する。	継続 商業者イベントが観光事業につながるよう支援を継続する。	拡充 商店街・商店の活性化イベント支援
	第三者評価	A TVやチラシ等のPR効果がでており参加者の増や市民の認識度もUPし、確実な成果が見られる。				
短・中長期の別	短期的施策	実施年度 (平成26年度～平成28年度)				
総合戦略	商業の活性化 (◆商店街・商店の活性化イベント支援)					
事業名		◎空き家・空き店舗対策事業の実施				
実施主体	商業者	住 民	商業団体	観光協会	行 政	
	支援	支援	主体	支援	支援	
27年度	取組内容	地域団体(自治会)と連携しながらチャレンジショップ等をきっかけに出店を促す。	事業の推進に向けて協力します。	ATP事業を推進します。チャレンジショップ事業に協力します。	ATP事業の推進に協力します。	空き家バンクの活用に向け取り組みます。チャレンジショップ事業実施を支援します。
	達成状況	チャレンジショップ(空き店舗利用)を5店舗オープン、協力した。	平成26・27年度合わせて登録件数13件は少ない。	チャレンジショップ5店舗オープン	会議に出席し積極的に意見交換、問題提起等を行った。観光情報誌でのATP事業紹介を行った。	高砂チャレンジショップの状況を市のホームページに掲載した。
	自己評価	A 集客に対し各店舗の取り組みが鍵となる。	B 平成26・27年度合わせて契約件数6件は少ないが少しずつ解消している。	A チャレンジショップはオープンできたが継続店は2店舗のみの予定であり、検証が必要である。	A 積極的に協力した。	B 空き家バンク制度実施に取組めたが、その後の運用管理の面で課題あり。
	今後の方向性	継続 継続して、推進に協力する。	継続 今後も事業の推進に向けて協力する。	継続 継続して、実施、協力をしていきたい。	継続 継続して、推進に協力する。	拡充 空き家を活用し開業する場合の支援策検討中
第三者評価	A チャレンジショップの実績は大きく、5店舗の出店は評価できる。					
短・中長期の別	短期的施策	実施年度 (平成26年度～平成28年度)				
総合戦略	空き家の利活用 (◆空き家バンクの情報発信強化、掲載物件の拡大、○空き家活用に対する支援) 空き店舗の活用 (◆空き家バンクの充実、◆空き店舗の活用への支援(起業支援、改修助成))					

1 基本目標 まちと商業の一体化

【施策の方向】 異業種・業態との連携推進

施策1 商業の新連携促進

事業名		◎共同事業の実施				
実施主体	商業者	住 民	商業団体	観光協会	行 政	
	主体	支援	支援	支援	支援	
27 年 度	取組内容	プレミアム商品券やあきんどマガジンを 通し新たな商業者との 連携を促進します。	新連携事業実施に協 力します。	他市町村、異業種と 交流する場を設けま す。	日本三奇物産展（商 業者）や、新兵庫史 を歩く（TV局）な ど、他業種との連携 事業に取り組みま す。	商店街と大型店など が共同して実施する 事業に対し支援しま す。
	達成状況	プレミアム商品券通 じ大型店との連帯を 促せた。	実施無し	2市2町会員大交流 会を本年も実施	日本三奇物産展の開 催や、TV番組による 商業店の紹介などを 積極的に行った。	観光協会と協力し、 大型店で地元商店の 物品を販売をした。
	自己評価	A それぞれの立場を理 解し事業を行った。	C 実施無し	A 昨年より充実した会 大交流会となった。	A 目標通り実施した。	A 大型店で地元商店・ 観光協会・行政など と共同実施した。
	今後の方 向性	継続 今後もあきんどマガ ジンやクーポンアプ リ事業等を通し新た な業種、業態との連 携を深める。	継続 今後も新連携事業実 施に協力していく。	継続 2市2町会員大交流 会は来年当所が主管 となり実施予定	継続 今後も積極的に取り 組めます。	拡充 同業・異業種間との 連携事業を検討す る。
	第3者 評価	A 各実施主体で成果あり				
短・中長期 の別	短期的施策	実施年度 (平成26年度～平成28年度)				
総合戦略	商業の活性化（◆同業・異業種間との連携事業）					

2 基本目標 新たな個性の創出

【施策の方向】 個店の独自性の創出

施策1 個性ある個店づくり

事業名		◎既存商品の掘起し				
実施主体	商業者	住民	商業団体	観光協会	行政	
	主体	支援	支援	支援	支援	
27年度	取組内容	既存商品に新たな付加価値を付けよりクオリティーを高めま	既存商品の研究を支援します。勉強会・講習会などの情報を提供します。	新たに、推奨品を募集し、認定品の広報活動に努めます。	既存商品の掘起しを支援します。	
	達成状況	観光協会と協力し推奨品の開発を支援	観光協会の観光物産推奨品事業を支援した。	高砂市観光物産推奨品事業を実施、広くPRした。	高砂市観光物産推奨品事業の取り組みに協力した。東はりま物産展（SMBC東京本店）において推奨品を販売しPRを行った。	
	自己評価	B 観光協会の事業に協力した。	(S・A・B・C)	A 物産推奨品事業に対する件の補助金を獲得することが出来た。	A 新たな商品の認定、パンフレット作成、物産展開催、TV番組での紹介など様々な事業を実施	A 高砂市観光物産推奨品事業への協力や都市圏でのPRができた。
	今後の方向性	継続 今後も既存商品の掘り起こしに努めPRや販路拡大を促す。	(拡充・継続・縮小・廃止)	継続 今後とも人為的支援を行っていきたい。	継続 今後も広くPRにつとめるとともに、高砂の個性的な特産となるよう支援する。	拡充 今後も高砂市観光物産奨励品事業への協力や販路開拓に向けたPRを行っていく。
	第三者評価	A 既存商品の掘り起こしに取組み、商品のPRを図っている。				
短・中長期の別	短期的施策	実施年度 (平成26年度～平成28年度)				
総合戦略	商業の活性化（◆市内商店の高付加価値化、個性のある個店づくりへの支援）					

【施策の方向】 魅力ある商業地の創出

施策1 商店街の活気づくり

事業名		◎空き家・空き店舗を活用したイベントの開催				
実施主体	商業者	住民	商業団体	観光協会	行政	
	主体	支援	支援	支援	支援	
27年度	取組内容	引き続き朝ごはん市や松の子本舗の開催に協力します。	イベント開催に向け参加・協力します。	松の子本舗を開店します。イベント開催に向けて商業者に協力を要請します。	各出店者及び関連団体の開催イベントをPRします。	イベントの開催についてPRします。
	達成状況	取り組みとしての達成感はあるが成熟まで至らない。	イベントに参加した。（フリマなどでは出店）	松の子本舗の開業	実施無し	イベントの開催について、チラシ・ポスターを公共施設に配布するなどPRを行った。
	自己評価	B チャレンジショップ等の取り組みの評価はあるが今後を見据えた商店街づくりを考えるべき。	A フリマなどのイベントでは出品者が増えた。	A 松陽高校の生徒が開店する松の子本舗は、イベント性もあり集客にも繋がる。	C 具体的取組なし	B 公共施設に配布しイベントのPRを行った。
	今後の方向性	継続 イベント等の出店者の中からより多く商店街の出店に誘致する。	継続 今後もイベントに参加・協力していく。	継続 商店街に松の子本舗をいかに活用するかが重要である。	継続 支援内容を検討する。	拡充 商店街・商店の活性化イベント支援
	第三者評価	B 成果有り。さらに発展的取組みが必要				
短・中長期の別	短期的施策	実施年度 (平成26年度～平成28年度)				
総合戦略	商業の活性化（◆商店街・商店の活性化イベント支援）					

3 基本目標 可能性の創出

【施策の方向】 創業（開業）支援

施策1 創業に役立つ情報発信の充実

事業名		◎創業者向けセミナー等の充実				
実施主体	商業者	住民	商業団体	観光協会	行政	
	支援	支援	主体	支援	支援	
27年度	取組内容	創業者向けセミナー等の充実に向け意見・要望します。		創業者向けセミナーを開催します。	観光振興につながる事業の創業について支援します。	創業者向けセミナーをPRします。
	達成状況	未達成		創業者向けセミナーを実施した。	実施なし	創業塾のPRを行った。
	自己評価	C 情報等があれば提供します。	(S・A・B・C)	A 個別支援も実施しそれなりの成果を上げつつある。	C 実施なし	B 創業塾のPRができた。
	今後の方向性	継続 積極的に参加また提案します。	(拡充・継続・縮小・廃止)	継続 今後も創業者向けセミナーを実施する。	継続 観光振興につながる事業の創業について支援する。	拡充 ソーシャルビジネス等の創業セミナーの検討
	第三者評価	C セミナーの内容について商業者・観光協会からの情報発信が必要				
短・中長期の別	短期的施策	実施年度 (平成26年度～平成28年度)				
総合戦略	創業（起業）支援（◆若者、女性向け創業支援）					

施策2 創業時のサポート体制

事業名		◎創業者向け支援制度創設の検討				
実施主体	商業者	住民	商業団体	観光協会	行政	
	支援	支援	支援	支援	主体	
27年度	取組内容	創業者向け支援制度創設に向けて内容を協議します。		開業希望者に対して積極的に個別支援を行います。	観光振興につながる事業の創業について支援します。	空き家・空き店舗を活用し創業する者に対する支援策を検討します。
	達成状況	一部達成		個別に支援を実施した。	実施なし	創業者への支援策として、保証料補助及び利子補給金制度の創設に取り組んだ。
	自己評価	B 空き店舗を活用し創業する者に対し支援制度の説明等をした。	(S・A・B・C)	A それぞれにあった対応ができています。	C 実施なし	B 予算化に向けて取り組んでいる。
	今後の方向性	継続 今後も引き続き情報収集や提供に向け支援します。	(拡充・継続・縮小・廃止)	継続 今後も継続して支援を行っていく。	継続 観光振興につながる事業の創業について支援する。	拡充 創業者向け市融資または支援制度の実施
	第三者評価	B まずは商業団体、行政の制度設計構築が必要				
短・中長期の別	中長期的施策	実施年度 (平成26年度～平成30年度)				
総合戦略	創業（起業）支援（○創業者向け市融資または支援制度の実施）					

3 基本目標 可能性の創出

【施策の方向】 創業（開業）支援

施策2 創業時のサポート体制

事業名		◎チャレンジショップ				
実施主体	商業者	住民	商業団体	観光協会	行政	
	主体	支援	主体	支援	支援	
27年度	取組内容	チャレンジショップの実施に向け協力します。	チャレンジショップの実施に向け協力します。	チャレンジショップの募集、取りまとめを行います。	ATP事業の一環としてのチャレンジショップを支援します。	チャレンジショップ事業実施を支援します。
	達成状況	チャレンジショップの実施を協力した。	実施なし	銀座商店街にて4店舗開設。	実施なし	国の交付金を活用し、高砂チャレンジショップを実施し、5店舗が開店した。
	自己評価	A 5店舗のチャレンジショップオープンに協力した。	C 実施なし	A 現在は順調に進んでいる。	C 実施なし	A チャレンジショップ開店に対し支援ができた。
	今後の方向性	継続 チャレンジショップにとどまらず継続営業出来る店舗の発掘をする。	継続 今後もチャレンジショップの実施に向け協力していく。	継続 継続で残った店舗は1店舗だけであり事業の見直しが必要。	継続 ATP事業の一環としてのチャレンジショップを支援する。	拡充 チャレンジショップ継続実施に向けて検討が必要
	第3者評価	A 成果あり				
短・中長期の別	短期的施策	実施年度 (平成26年度～平成28年度)				
総合戦略	空き店舗の活用 (◆チャレンジショップの開催)					

【施策の方向】 商業者育成の推進

施策3 後継者の育成

事業名		◎まちづくりワークショップ、勉強会等の開催				
実施主体	商業者	住民	商業団体	観光協会	行政	
	主体	支援	支援	支援	支援	
27年度	取組内容	まちづくりワークショップ等の開催を検討します。	まちづくりワークショップ等の開催に協力します。	まちづくりワークショップ等の開催に協力します。	まちづくりワークショップ等の開催に協力します。	地元リーダーづくりセミナーの開催を支援します。
	達成状況	商工会議所等の開催に協力した。	実施なし	まちづくりワークショップを開催している。	実施なし	NPO法人ルネッサ高砂が実施するワークショップの開催を支援した。(6回開催 延べ156名が参加)
	自己評価	A 多くの参加者を募れた。	C 実施なし	A それなりの参加者はある。	C 具体的取組なし	A まちづくりワークショップの開催を支援できた。
	今後の方向性	継続 今後も引き続き定期的に開催していく。	継続 まちづくりワークショップ等に参加・協力していく。	継続 ワークショップは継続して開催していきたい。	継続 観光客の体験型観光に結びつくようなワークショップを支援する。	拡充 まちづくりワークショップの継続開催に向けて検討する。
	第3者評価	A NPO法人がまちづくりワークショップを6回開催し、延べ156名の参加者があったことは評価できる。				
短・中長期の別	短期的施策	実施年度 (平成26年度～平成28年度)				
総合戦略	地域づくり・人づくりの支援 (◆まちづくりリーダーの育成)、空き店舗の活用 (◆まちづくりリーダー養成)、商業の活性化 (◆後継者育成への支援)					

4 基本目標 魅力を活かす

【施策の方向】 まちの魅力活用

施策 魅力活用の推進

事業名		◎スタンプラリーの実施				
実施主体	商業者	住 民	商業団体	観光協会	行 政	
	主体	支援	支援	支援	支援	
27年度	取組内容	各地区にあった内容で検討します。	スタンプラリーなどを実施した際に協力します。	【主体】観光地の認識を深めるためにスタンプラリーを実施します。	【主体】スタンプラリーを実施します。	スタンプラリーの実施を支援します。
	達成状況	未達成	スタンプラリーなど実施時に参加	市内7箇所スタンプを設置し実施している。	現在実施中 H27.10.1～11.30	スタンプラリーの実施に向け、市のHPや広報誌などでイベントを紹介した。
	自己評価	C 内容についてよく検討する必要がある。	B スタンプラリーなど実施時に参加	A 来場者はそれなりにある。	A 現在実施中であるが、スタンプラリー台紙も好評、高砂の魅力をPRすることが出来ている。	A スタンプラリーの実施に向け、広報などで協力した。
	今後の方向性	継続 内容を吟味し、より消費者の満足度を高められるスタンプラリーの実施を検討する。	継続 今後も実施時は協力していく。	継続 観光地のスタンプラリーは予算化が難しいため別の形での実施を考える。	廃止 単年度事業につき、次年度の予定は未定	継続 関係団体がスタンプラリーを実施する場合は支援していく。
	第三者評価	A スタンプラリーの実施に至ったことは評価できる。				
短・中長期の別	短期的施策	実施年度 (平成26年度～平成27年度)				
事業名		◎(商店街を活用し)高砂の魅力を活用したイベントの実施				
実施主体	商業者	住 民	商業団体	観光協会	行 政	
	主体	支援	支援	支援	支援	
27年度	取組内容	商店街内の店舗に高砂らしい商品の展示をします。	イベントの実施に向けて協力します。	商業施設等を活かしたイベント(バル)を開催します。	イベントを実施した際にPRします。	イベントの実施に向け支援します。
	達成状況	一部達成(ちちり、高砂や)	イベント実施時に参加	バルを10月30日・31日に実施した。	たかさご万灯祭にあわせ、観光協会推奨品の物産展を実施、たかさごの魅力ある商品をPRした。	バルなどの実施に向け、市のHPや広報誌でイベントを紹介した。
	自己評価	B あきんどターボンマガジンでPRし集客に努めた。	B イベント実施時に参加	A それなりの集客を図ることが出来た。	A 多くの方々に高砂の魅力ある商品を知っていただけるイベントとなった。	A バルなどの実施に向け、広報などで協力できた。
	今後の方向性	継続 観光協会や物産協会と協力し計画を進めたい。	継続 今後も実施時には協力していく。	継続 今後も高砂の特性を活かしたイベントを実施する。	継続 今後も高砂の魅力を活用したイベントを推進します。	拡充 商店街・商店の活性化のイベントを支援していく。
	第三者評価	A 実施主体ごとの成果評価。				
短・中長期の別	短期的施策	実施年度 (平成26年度～平成28年度)				
総合戦略	商業の活性化(◆商店街・商店の活性化イベント支援)					

4 基本目標 魅力を活かす

【施策の方向】 まちの魅力活用

施策 PR活動の推進

事業名		◎マップ・情報誌の作成・配布				
実施主体	商業者	住民	商業団体	観光協会	行政	
	支援	支援	主体	支援	支援	
27年度	取組内容	マップ・情報誌に店舗情報を掲載しPRします。	作成されたマップ・情報誌を活用しPRに協力します。	クーポン付情報誌（あきんどマル得マガジン）を発行します。	【主体】マップ・情報誌の作成・配布をします。	マップ・情報誌の作成・配布を支援します。
	達成状況	年に2度あきんどクーポンマガジンを発行	マップ・情報誌を活用	あきんどマガジンを2回発行。	観誌14、15、16を作成、配布した。日本三奇パンフレットの作成し報道機関等に送付した。	情報誌の作成及びあきんどマガジンの発行・配布を支援した。
	自己評価	A 参加店より効果が得られたとの報告があった。	B マップ・情報誌を活用	A 定着してきている。	A 目標通り実施した。	A 情報誌、あきんどマル得マガジン発行・配布の支援ができた。
	今後の方向性	継続 今後も充実した内容で発行します。	継続 今後も活用及びPRに協力していく。	継続 興味を引く記事を掲載するとともに掲載店の拡充を図りたい。	継続 今後も観誌の発行を予定	継続 今後も作成・配布を支援する。
	第三者評価	A	市のホームページでの観光マップ掲載（前面に出す）周辺店舗（コンビニ）での配布を行い、店舗などにマップ・情報誌を設置している旨の表示が必要			
短・中長期の別	短期的施策	実施年度（平成26年度～平成28年度）				
事業名		◎ウェブサイトの活用				
実施主体	商業者	住民	商業団体	観光協会	行政	
	主体	支援	主体	支援	支援	
27年度	取組内容	アプリ事業を企画し商店情報だけに留まらず観光や行政情報ともリンクし、より広くPRします。	ウェブサイトの情報を活用しPRに協力します。	店舗のお得情報を発信するためのクーポンアプリを作成します。	【主体】ウェブサイトを活用し情報提供します。	ウェブサイトを活用し情報提供します。
	達成状況	クーポンマガジンと連動したアプリ事業を11月より実施	ウェブサイトの情報を活用	クーポンアプリ事業の実施	FACEBOOK、HPなどで積極的に広報につとめた。	市のホームページを始め、観光情報などを提供している民間サイトを活用し、情報提供した。
	自己評価	A 観光や行政情報とリンクしたウェブサイトが必要	B ウェブサイトの情報を活用	A 活用がなかなか進まない。	B 特にFACEBOOKでの広報につとめた。HPについて内容が古いものがあり、修正が必要	A 観光情報サイトを活用し、まちの魅力を発信した。
	今後の方向性	継続 より魅力的な内容でアプリ事業を進めます。	継続 今後も活用及びPRに協力していく。	継続 クーポンアプリ事業を継続する。	継続 HPの内容を修正、充実させる。	継続 今後もウェブサイトを活用し情報提供していく。
	第三者評価	A	市のホームページで観光を前面にすべきである。市民も市内の歴史と観光名所がわかる。			
短・中長期の別	短期的施策	実施年度（平成26年度～平成28年度）				

5 市内主要地区重点施策

(1) 銀座商店街周辺を中心とした高砂地区

【施策の方向】 高砂町の歴史的な街並みを活かすとともに交流の拠点となる商店街づくり

事業名		◎空き店舗等を利用した定期的なイベントの開催（朝市など）				
実施主体	商業者	住 民	商業団体	観光協会	行 政	
	主体	支援	支援	支援	支援	
27年度	取組内容	朝ごぼん市に協力しより広くからの集客を目指します。	朝市開催に向けて協力します。	朝市開催に向けて支援します。	朝市開催に向けて協力します。	朝市など開催を支援します。
	達成状況	チャレンジショップも含め月1回ではあるが広域より多くの集客ができた。	朝市ごぼん市のPRを積極的に行った。	朝市の支援を行っている。	観光協会の働きかけによる雑誌社や山陽電車への掲示などを行った。	(銀座商店街) 毎月第3土曜日朝市開催に際し、PR及び駐車場の確保等を協力した。
	自己評価	S 出店者の商店街への出店が望ましい。	A 多くの方々から出店依頼などの問い合わせも頂き、積極的にPRができた。	B 支援できることは出来るだけさせていたきたい。	A 目標どおり支援した。	A 朝市開催に際し、PRや駐車場の確保などの支援ができた。
	今後の方向性	継続 商店街の新たな再生に向け商店街への出店を促します。	継続 今後も協力していく。	継続 今後とも支援する。	継続 今後も支援する。	拡充 商店街・商店の活性化イベント支援
	第3者評価	S イベントの盛り上がりがあり成果は評価できる。				
短・中長期の別	短期的施策	実施年度 (平成26年度～平成28年度)				
総合戦略	商業の活性化 (◆商店街・商店の活性化イベント支援)					

(2) アスパ高砂

【施策の方向】 文化と協調した新しい形態でのショッピングづくり

事業名		◎生活情報の発信の拠点づくり				
実施主体	商業者	住 民	商業団体	観光協会	行 政	
	主体	支援	支援	支援	支援	
27年度	取組内容	生活情報の発信に向けて取り組みます。	生活情報の発信に向けた取組みに協力します。	生活情報の発信に向けた取組みを支援します。	生活情報の発信に向けた取組みに協力します。	市政情報を発信するため、情報掲示板の設置に向けて取り組みます。
	達成状況	情報掲示板の設置について協議した。	あなご料理コンテストに参加した。	あなごウィーク周知のため料理研究家の講演と領地教室を実施。	実施無し	市内商業施設に高砂市情報掲示板が設置できた。
	自己評価	B 具体的な取り組みが出来なかった。	B 生活情報の発信源として利用した。	B アスパ高砂を情報発信の場として利用できた。	C 具体的取組なし	A 市政情報を発信する掲示板の設置ができた。
	今後の方向性	継続 今後も情報の発信や文化交流の場として提案します。	継続 今後も利用していく。	継続 今後も情報発信の場を広げていきたい。	継続 他団体の事業などを広報誌などを使い発信していく。	継続 市政情報発信掲示板の活用に努める。
	第3者評価	B 市政情報を発信する掲示板等を設置したがPR等が不足している。				
短・中長期の別	短期的施策	実施年度 (平成26年度～平成28年度)				